

第8回 世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会

日時：令和5年7月27日（木）午後6時30分～

会場：区役所第一庁舎「庁議室」

次 第

- 1 開 会
- 2 会議録の確認
- 3 部活動地域移行に係る検討委員会報告書（中間まとめ）について 資料1
- 4 次年度以降の取組みについて（意見聴取）
- 5 部活動地域移行に関するアンケート（全生徒/保護者/教員向け）について
資料2
- 6 その他
- 7 閉会

次回以降開催予定

第9回 調整中

配付資料

【資料1】世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会報告書（中間まとめ）
（素案）7月27日時点版

【資料2 - 1】部活動地域移行に関するアンケート フロー図（全生徒向け）

【資料2 - 2】部活動地域移行に関するアンケート フロー図（全保護者向け）

【資料2 - 3】部活動地域移行に関するアンケート フロー図（全教員向け）

基礎資料（机上ファイル）

- ・参考資料1 運動部活動の地域移行のに関する検討会議 提言（スポーツ庁）
- ・参考資料2 文化部活動の地域移行のに関する検討会議 提言（文化庁）
- ・参考資料3 「未来のブカツ」ビジョン（経済産業省）
- ・参考資料4 世田谷区立中学校における部活動の方針
- ・参考資料5 部活動支援員の手引き
- ・参考資料6 学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン
- ・参考資料7 「学校部活動及び地域クラブ活動に関する総合的なガイドライン」及び学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画

世田谷区立中学校部活動地域移行に係る
検討委員会報告書（中間まとめ）
（素案）

令和5年7月

世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会

目 次

はじめに

第1章 区立中学校部活動における現状

1 - 1 部活動の現状

第2章 世田谷区における中学校部活動地域移行の検討

2 - 1 検討委員会の立ち上げ

第3章 区立中学校部活動地域移行に係る課題と検討

3 - 1 部活動地域移行の課題

3 - 2 地域移行のためのトライアル事業の実施

第4章 今後に向けた検討と取組み

4 - 1 トライアル事業の検証

4 - 2 世田谷区の中学校部活動の今後の方向性について

4 - 3 地域クラブ活動への移行に係るキャッチフレーズとその趣旨

4 - 4 今後の継続的な検討

資料編

1 世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会設置要綱

2 関連法規（抜粋）

3 世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会委員名簿及び開催実績

4 検討部会の意見回答集計結果

5 アンケート集計結果

6

はじめに

本報告書は、世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会（以下、本委員会）による審議の中間まとめを記したものである。

令和4年6月と8月にスポーツ庁並びに文化庁より「中学校部活動の地域移行に関する検討会議提言」が示されたことを受けて、本委員会は令和4年10月に世田谷区立中学校の部活動地域移行の在り方及びその内容を検討するために発足した。区立中学校の部活動地域移行と一口に捉えても、そこに関連する組織・団体は学校内外に幅広く存在している。そのため、本委員会は、中学校教員、保護者、地域クラブ・団体、大学、教育委員会等といった多様な立場の代表者から構成しており、様々な意見を集約・調整しながら、よりよい在り方の実現を目指している。

本委員会は、現在に至るまで計8回の審議を経ており、毎回活発な議論を展開しているが、具体的には、区内の部活動の現状把握をはじめとして、当事者である中学生（当事者であった高校生や大学生を含む）との面談、地域移行の旗印となる理念やキャッチフレーズの検討、トライアル事業の評価等について検討をしている。とりわけ本委員会において留意していることは、部活動の当事者である「生徒を中心とすること（学生・センタード）」を方針の一つとして掲げ、生徒の声に耳を傾け、その思いを汲み取り、在り方の具体にまで結実させていく点である。

この地域移行という課題は、中学生の活動場所が学校から地域に移るといった単なる空間の変更を意味するものではなく、未来の世田谷の中学校の在り方にも大きく影響を与えるとの自覚の下で、生徒や保護者の多様なニーズを丁寧に汲み取り、その在り方に反映できるよう、同時にスポーツ・文化の多様な経験と担い手の育成に寄与するよう、持続的で実施可能な在り方を模索している。世田谷の特性や多様な資源を生かして、世田谷らしい地域移行を今後検討していきたいと考えている。

なお、本報告書はあくまで中間まとめであり、これを契機として、よりよい部活動地域移行の在り方に向けて、多くの方と深い議論ができればと考えている。是非ともご一読をいただき、忌憚のないご意見を賜ればと考えている。

世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会

委員長 近藤 智靖

第1章 区立中学校部活動における現状

世田谷区では、世田谷区立学校管理運営規則(昭和53年世教委規則第7号)第27条において「中学校は、その管理下において、部活動を行う。」としており、29の区立中学校においては、24種類の運動系部活動、45種類の文化系部活動が行われており、令和5年度は合計388¹の部活動が設置されている。

<資料 参照>

1-1 部活動の現状

1-1-1 生徒の部活動への参加の状態

世田谷区立中学の全生徒のうち、男子で部活動に所属している割合は84%、所属していない割合は16%、女子で部活動に所属している割合は93%、所属していない割合は7%である。

また、部活動に所属している生徒のうち、運動系部活動に所属している生徒が68%、文化系部活動に所属している生徒が32%である。

男女別にみると、男子で、部活動に所属している生徒のうち、運動系部活動に所属している生徒が78%、文化系部活動に所属している生徒が22%、女子で部活動に所属している生徒のうち、運動系部活動に所属している生徒が57%、文化系部活動に所属している生徒が43%である。

<資料 参照>

1-1-2 世田谷区部活動の指導体制

中学校では、部活動を推進するために、部活動ごとに顧問教員を置き、部活動の指導を行っている。また、世田谷区では、部活動を支援するため「部活動支援員制度」を活用した取組みを行っている。

部活動支援員は、535人配置されており、その内訳は、監督²141名、

¹ 令和5年度「部活動に関するアンケート」(中学生対象)より。

² 「監督」は、「世田谷区立中学校部活動支援員の設置及び活動に関する要項」で規定するものであり、顧問教員を置けない部活動において、管理顧問教員と協力して、必要な技術の指導を行う。また、練習試合や一部の大会において単独引率を行うことができる。

部活動指導員³ 394名となっている。(令和5年3月現在)⁴

また、部活動支援員を配置している部活動は、全29校の249部の部活動となっている。〈資料 参照〉

部活動支援員は、大学生をはじめ、地域の指導者のほか、(一財)東京学校支援機構(TEPRO)のサポーターバンク、世田谷区スポーツ振興財団のスポ・レクネット等の指導人材登録システム等を活用し、学校からの要望を踏まえて教育委員会が配置を行っている。

³ 「部活動指導員」は、「世田谷区立中学校部活動支援員の設置及び活動に関する要項」で規定するものであり、顧問教員または監督の技術指導の補佐等の業務を行う。なお、学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第78条の2で規定されている「部活動指導員」とは異なる。

⁴ 部活動支援員の報償費 (1時間あたり) 監督 1,500円 部活動指導員 1,300円

第2章 世田谷区における中学校部活動地域移行の検討

2-1 検討委員会の立ち上げ

国は、少子化の影響による中学校部活動の持続可能性や、休日を含めた部活動の指導が、教員にとって大きな業務負担となっているなどの課題を踏まえ、スポーツ庁及び文化庁において検討会議を設置し検討を進め、令和4年6月に「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」、令和4年8月に「文化部活動の地域移行に関する検討会議提言」がそれぞれ取りまとめられた。また、経済産業省では、地域×スポーツクラブ産業研究会が令和4年9月に「未来のブカツ」ビジョンを取りまとめている。

スポーツ庁及び文化庁では、前述の提言を踏まえ、令和4年12月に「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」(以下「総合的なガイドライン」という。)を取りまとめた。

総合的なガイドラインでは、改革の方向性としては以下が示されている。

スポーツ・文化芸術団体との連携や保護者等との協力の下、学校と地域が協働・融合した形で環境整備を進めること。

地域スポーツ・文化振興担当部署や学校担当部署、関係団体、学校等の関係者を集めた協議会などの体制を整備すること。

指導者資格等による質の高い指導者の確保と、都道府県等による人材バンクの整備、意欲ある教師等の円滑な兼職兼業を行うこと。

競技志向の活動だけでなく、複数の運動種目・文化芸術分野など、生徒の志向等に適したプログラムの確保すること。

困窮家庭への支援すること。

まずは休日における地域の環境の整備を着実に推進。平日の環境整備はできるところから取組み、休日の取組の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進すること。

令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進**機関期間**として地域連携・地域移行に取り組みつつ、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指すこと。

大会参加資格を地域クラブ活動の会員等も参加できるよう見直すこと。

できるだけ教師が引率しない体制を整備し、運営に係る適正な人員を確保すること。

なお、部活動の地域移行にあたっては、「地域の子どもたちは、学校を含めた

地域で育てる。」という意識の下、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備し、地域の実情に応じスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消することが重要とされている。

こうした背景から、世田谷区では、当区らしい中学校部活動の地域移行について検討を進めるため、令和4年10月に「世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会」(以下「検討委員会」という。)を立ち上げ、検討を行っている。

2-1-1 検討委員会における検討状況

検討委員会では、令和5年10月以降7回の会議を開催し、世田谷区に相応しい部活動の地域移行の在り方を検討するため、部活動の現状を踏まえて、地域移行に向けた課題の整理を行っている。

世田谷の部活動が地域に移行することについて、教員の働き方改革を実現することはもとより必要であるが、なによりも部活動は、生徒のためのものであり、それが地域クラブの活動に移行することは、生徒にとって、新たな出会いや期待、楽しみといった「新たな価値」をもたらすものであることが何より重要である。いつも、生徒のことを何よりも中心に考え、生徒にとってより良い「生徒ファースト」の共通の視点から、議論が交わされている。

世田谷区 部活動地域移行の「6つの視点」

- 1) 自己選択、自己決定、自ら選べる選択肢が今まで以上に広がる
- 2) よりよい指導環境、専門的な指導を継続的に受けられる
- 3) 多世代の交流、世代を超えた地域の人々との交流の機会がある
- 4) 多種目・多様な志向、スポーツ・文化の多様な経験と担い手の育成につながる
- 5) 地域への誇りを感じられる
- 6) 自宅や学校とは違う地域の中に居場所がある(サードプレイス)

こうした考え方を踏まえ、現役の中学生だけでなく、中学校で部活動を経験している高校生や大学生からの部活動に関する意見聴取を行い、子どもから直接意見を聞く機会も設けて、検討を行っている。

回	日時	主な議題
第1回	令和4年10月26日	・中学校部活動地域移行の制度理解について ・世田谷区立中学校の部活動の現状について ・地域移行の在り方について

検討部会	令和4年11月17日	<ul style="list-style-type: none"> 検討部会中学校の部活動に関する意見交換会 中学生の部 高校生・大学生の部
第2回	令和4年12月20日	<ul style="list-style-type: none"> 中学生、高校生、大学生委員代表による意見の報告 部活動地域移行の検討の方向性について
第3回	令和5年1月19日	<ul style="list-style-type: none"> 部活動地域移行のあり方検討(目指すべき地域移行の方向性) 地域資源を活用した地域クラブ活動のパターン 地域移行に伴う諸課題について(検討部会の意見より) 報告書の考え方について
第4回	令和5年2月14日	<ul style="list-style-type: none"> 部活動地域移行のあり方検討(目指すべき地域移行の方向性) 教師等の兼業兼職 理念やキャッチフレーズ 地域移行に伴う諸課題について
第5回	令和5年3月30日	<ul style="list-style-type: none"> 部活動地域移行のあり方検討(目指すべき地域移行の方向性) 「学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画」 東京都中学校体育大会の大会実施要項の改定 アンケート結果 キャッチフレーズ 地域移行に伴う諸課題について
第6回	令和5年6月1日	<ul style="list-style-type: none"> 部活動地域移行に係るトライアル事業の取組みについて トライアル事業の実施状況 アンケートの質問内容 部活動地域移行に係るキャッチフレーズとその趣旨について
第7回	令和5年6月29日	<ul style="list-style-type: none"> 部活動地域移行に係るキャッチフレーズとその趣旨について 部活動地域移行トライアル事業のアンケート集計結果について 部活動地域移行に関するアンケート(全生徒/

		保護者/教員向け) について
第 8 回	令和 5 年 7 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動地域移行に係る検討委員会報告書(中間まとめ) について ・部活動地域移行に関するアンケート(全生徒/保護者/教員向け) について

2-1-2 検討部会の実施

検討委員会では、「生徒ファースト」の視点を重視しながら、部活動の地域移行を検討するにあたり、部活動の当事者の意見を知るため検討部会を開き、中学生、高校生、大学生から中学校の部活動についての意見を聞いた。

当日は、中学生 8 名、高校生 3 名・大学生 3 名から、率直な意見を聞くことができた。

さらに、第 2 回検討委員会(令和 4 年 1 2 月 2 0 日)に代表として中学生、高校生、大学生それぞれ 2 名に出席いただき、委員との意見交換を行った。

2-1-3 中学生、高校生、大学生委員による意見

中学生からの意見

部活動への希望としては、

「休みが規則正しくあった方がよい」「勉強との両立を図りたい」という意見の一方、「練習の機会・時間がもう少し増やせるとよい」という意見もあった。

また、「もっと大人の指導を受けたい。相談をしたい。」「同じ実力のある者同士でチームを組みたい。同じ実力のチームと試合をしたい」という意見のほか、「やる気が上がるような環境(設備の充実)」を望む声もあった。

部活動の地域移行については、

合同部活等については、「他の学校とプレイできるのがいい」「他校の交流は良いが、人間関係が大変そう」「合同チームはカラーが違って、かみ合わない」などの意見があった。

指導者については、「顧問が熱心なので、指導者が変わると残念」「レベルの高い指導を受けられるのはよい」「複数の指導者から指導を受けることになり、意見が違ふと迷ふと思う」などの意見があった。

その他として、「吹奏楽部は楽器の運搬があるので大変」「交通費が負担になる」「挨拶や礼儀の指導がなくならないようにしてほしい」などの意見があ

った。

高校生・大学生からの意見

部活動の地域移行についての意見として、

合同部活動については、「他校との実力差の解消。レベルアップが期待できる」「初めてのメンバーでは気を遣う」「違う中学との練習は刺激があるが、意見の違いが出てくるのでは」「交通費は負担だ」といった意見があった。指導者については、「実力ある指導者の指導を受けられるのはよい」という意見があった。

その他として、「活動が厳しくない部活があってもよい。」「自由に参加できる部活があるとよい。スポーツ自体を純粋に楽しみたい人もいた」「(多世代による活動は)小学生、高校生とはレベル差の課題がある」といった意見があった。

< 意見の詳細は、資料 参照 >

第3章 区立中学校部活動地域移行に係る課題と検討

3-1 部活動地域移行の課題

地域移行を進めていく際には、生徒にとってプラスとなる、「生徒ファースト」の視点で進めていく必要がある。

また、これまで中学校の部活動は、学校教育活動の一環として学校の管理下で行われてきていることを踏まえ、仮に部活動が学校からは切り離された活動とされる場合に、どのような課題があるか事前に十分検討し、生徒や保護者、活動の受け皿となる団体等と事前に共通理解を得た上で対応していく必要がある。

これまでの検討委員会においては、世田谷区が部活動の地域移行を検討するにあたっては、以下の課題が想定されることが示されており、今後も継続して課題を把握するとともに、一つ一つ確実に対策を講じていく必要がある。

(1) 生徒、教職員、保護者及び地域への周知について

- a. 生徒たちが不安にならずに、部活動の地域移行に明るいイメージを持ち、正しい理解ができるよう、分かりやすく情報を伝えていく必要
- b. 教職員への情報提供を的確に行う必要
- c. 地域の協力を得られるよう、地域住民や団体への情報提供を行う必要

(2) 指導者について

指導者の質の確保

(ア) 専門性や資質・能力を有する指導者の確保

- a. 指導者の養成や資質向上の取組
- b. 指導者は、生徒を安全・健康管理等の面で支えるため、また、文化芸術活動では著作権の研修等が必要
- c. 指導者同士の情報共有の仕組みづくりが必要

(イ) 体罰・ハラスメントの防止

- a. 練習が過度な負担とならないようにすること
- b. 生徒の安全の確保や暴言・暴力、行き過ぎた指導、ハラスメント等の行為の防止

指導者の量の確保

- a. 部活動支援員の制度を充実し、PRを強化
- b. 部活動支援員を中心とした人材バンクの整備
- c. 退職教師、企業関係者、スポーツ推進委員、大学生・高校生、保護者な

ど、様々な関係者から指導者を確保

教員等の兼職兼業

- a. 地域クラブ活動での指導を希望する教師等の兼職兼業に関する規程や許可基準等の整備
- b. 勤務校業務への影響、教師等の健康への配慮と適切な労務管理

指導におけるハラスメント等の対策

- a. 指導者に行き過ぎた指導やハラスメントが見られた場合に、生徒や保護者が相談できる窓口の設置
- b. 相談を受け、各団体等と連携しながら対応する仕組みの検討

(3) 会費・経費の負担について

- a. 地域クラブ活動では、会費等の負担が生じる可能性があること
- b. 経済的に困窮する家庭の生徒に対しする支援等の検討

(4) 保険の加入について

- a. 指導者、生徒等の怪我等を補償する保険や個人賠償責任保険の種類や費用負担
- b. 学校管理下での事故に対する災害共済給付制度との格差

(5) 学校との連携等について

- a. 活動方針や状況、スケジュール等の調整
- b. 部員の募集、トラブル等への対応

(6) 大会参加や大会運営について

- a. 大会等への参加資格
- b. 教員の引率や大会運営に係る負担軽減

(7) 地域団体の支援や民間企業等の参入について

- a. 地域の各種スポーツ団体や文化活動団体等の協力を得るための支援
- b. 民間企業やNPO法人等が中心となる活動の参入の可否

(8) 学校外施設利用

- a. 学校以外の施設を利用する場合に施設利用料の負担
- b. 学校以外の施設を利用する場合の移動時の自転車利用

- c. 学校以外の施設を利用する場合の移動に係る費用負担

3—2 地域移行検討のためのトライアル事業の実施

検討委員会の議論において、部活動の地域移行を進める際には、多様な実施主体の選択肢があること、実施主体によって生じる課題が異なる可能性があることが指摘された。これを踏まえ、今後の円滑な地域移行に向けた事業検証のため、地域資源を活用したトライアル事業を令和5年度に実施している。なお、現時点においては、指導者や生徒の事故やケガの際の保障の問題や、大会参加の要件等について十分に整理されていないことから、トライアル事業で行う活動は、学校の管理下において行う活動と位置付けている。

3 - 2 - 1 トライアル事業の実施状況

(1) 実施内容

世田谷区スポーツ振興財団によるトライアル事業

)顧問に代わり外部指導員が**指導**する部活動トライアル(指導者派遣型)

目的：現在の学校部活動をベースに、顧問に代わり外部指導員が部活動**指導**を行う。

対象：船橋希望中学校 ソフトテニス部

部員数：41人

会場：船橋希望中学校ソフトテニス部が活動する場所

活動日：週2日間 1回2時間程度

指導者：ソフトテニス連盟の指導者を主に、大学生、財団職員など

大会の引率：中学の要望に合わせ対応

検証項目：指導の適切さ、生徒・保護者の満足度、学校施設利用の適切さ、学校との調整の課題、必要経費、等

ii)運動部の合同部活動トライアル(合同部活動型・教員の兼職イメージ)

目的：通常の部活動に加え、週1日程度、競技専用の環境で2つ中学校が合同の部活動を行う。

対象：砧中学校・船橋希望中学校 陸上部

部員数：船橋希望中学校陸上部 51人

砧中学校陸上部 45人 計96人

会場：総合運動場グラウンド

活動日：週1日間程度(火・土・日のいずれか) 2時間程度

指導者：上記部活の顧問が合同・交代で指導

各指導者がそれぞれ得意とする陸上種目を指導する
その他、**大学生、財団職員**、専門の指導員なども一部指導に参加
大会の引率：合同部活動では大会参加なし
検証項目：指導の適切さ、生徒・保護者の満足度、施設利用の満足度、移動
の課題、学校との調整の課題、教員の負担、合同部活動の課題、等

せたがや文化財団によるトライアル事業

文化系の合同部活動トライアル（合同部活動型・地域移行のイメージ）

目的：区内全中学の希望する生徒を募集し、複数の学校で合同の部活動を行う。

対象：区内全中学から希望する生徒

部員数：15人（1校の生徒が参加）

会場：パブリックシアターを中心に、学校施設も利用

活動日：土・日・祝日のいずれか。2時間程度

指導者：演劇活動の専門家等による指導

活動内容：合同部活動で4つのワークショップ(初夏・夏休み・秋・冬)を行う。秋のワークショップでは、計16日間の練習をし、区大会で発表する。

検証項目：指導の適切さ、生徒・保護者の満足度、施設利用の満足度、移動の課題、学校との調整の課題、合同部活動の課題、等

総合型地域スポーツ・文化クラブによるトライアル事業

○学校と連携して活動する「地域クラブ活動」トライアル
（指導者派遣型・地域移行のイメージ）

目的：中学校を拠点として活動する総合型クラブが学校と連携する「地域クラブ活動」のあり方を探る。

対象：東深沢中学校 体力向上部

部員数：45人

会場：東深沢中学校

活動日：火、水、金曜 7:20～8:00

指導者：総合型クラブの指導者（地域の指導者、中学の卒業生など）

大会参加等：なし

体力向上部とは：早朝に活動する部活動で、受験生等の体力維持の他、他の運動部との兼部の生徒も在籍。障害走、筋トレ、縄跳び、バドミントン等、複数種目を実施。総合型により、種目増加も見込んでいる。

検証項目：指導の適切さ、生徒・保護者の満足度、学校との調整の課題、
総合型での運営上の課題・区の支援のあり方、等

第4章 今後に向けた検討と取組み

4-1 トライアル事業の検証

トライアル事業の実施期間にあわせ、継続的なアンケートをはじめとする検証を実施していく。

(1) トライアル事業で検証する課題

3-1に記載した部活動の地域移行により想定される課題については、トライアル事業を通じて可能な限り検証していく。

トライアル事業で検証していく課題

トライアル事業			対応する課題番号
世田谷区スポーツ振興財団によるトライアル事業	i) 顧問に代わり外部指導員が運営する部活動トライアル(指導者派遣型)	船橋希望中学校 ソフトテニス部	(2) (ア)(イ) (5)
	ii) 運動部の合同部活動トライアル(合同部活動型・教員の兼職イメージ)	砧中学校・船橋希望中学校 陸上部(合同部活動)	(2) (ア)(イ) (8) b. c.
せたがや文化財団によるトライアル事業	文化系の合同部活動トライアル(合同部活動型・地域移行のイメージ)	演劇部(合同部活動)	(2) (イ) (8)
総合型地域スポーツ・文化クラブによるトライアル事業	学校と連携して活動する「地域クラブ活動」トライアル(指導者派遣型・地域移行のイメージ)	東深沢中学校 体力向上部	(2) (イ) (5) (7) a.

中学校部活動の地域連携の強化の中で検討する課題

課題番号	内容
(2) (ア) (イ)	指導者の質の確保
	指導者の量の確保
	指導におけるハラスメント等の対策
(6)	大会運営

上記の中で検証できない課題

課題番号	内容
(3)	会費・経費の負担
(4)	保険の加入（一部についてはトライアル事業で検証可能）
(7) b.	民間企業や NPO 法人等が中心となる活動の参入の可否
(8) a.	学校外施設利用（ 交通費の費用負担 施設利用料の負担）

- (2) アンケートの実施
(アンケート結果 1 回目を掲載)

4-2 世田谷区の中学校部活動の今後の方向性について

世田谷区には、豊富な地域資源が存在する。地域行政制度に基づき、区民の参加と協働によるまちづくりを進める世田谷区として、地域団体等の協力のもと、本来の意味での地域移行を進めていくことが望ましい。

しかしながら、世田谷区の中学校数は 29 校あり、部活動の種類、数も、他自治体に比較し非常に多いため、部活動の地域移行に向けては、生徒をはじめ学校、保護者や地域団体等のあらゆる関係者の意見を十分に把握し、丁寧に検討を行っていく必要がある。

そのため、すべての中学生とその保護者及び中学校の教員を対象とした部活動の地域移行に関するアンケートを行い、当事者の声を把握することが重要である。

また、これまでの検討委員会が出された意見やトライアル事業の検証状況を

踏まえて、令和6年度に実施できる取組から着手し、部活動の地域移行を着実に進めることが望まれる。

なお、前項に記した、現行のトライアル事業では検証できない課題については、引き続き次年度に、実証的な活動を通して、課題解消を目指していく必要がある。

令和6年度に実施が期待される取組

令和5年度取組に加え、民間企業やNPO法人を対象とした地域移行の新たなトライアル事業の実施

総合型地域スポーツ・文化クラブの継続的参加に向けた補助制度の創設

教員の大会引率業務負担軽減に向け、審判業務の外部委託に向けたモデル事業の実施

部活動支援員の質の向上を目的とした定期的な講習会の実施

部活動**指導支援員**を安定的に確保するための人材バンク設置に向けた関係機関との協議

部活動の地域移行の取組状況や検討状況についての広報活動

4 - 3 地域移行の「新たな価値」と「キャッチフレーズ」

< 「新たな価値」(目指すべき方向性) について >

この「地域クラブ活動への移行」の取り組みは、本報告書の「はじめに」でも記したように、中学生の活動場所が学校から地域に移るといった単なる空間の変更を意味するものではなく、未来の中学校の在り方にも大きく影響を与えるものと考えます。そのため、この取り組みが、生徒、保護者、教師、地域の人々にとって、「新たな価値」を感じられるものとしていく必要がある。こうした点について本委員会にて議論を重ねた結果、以下の「新たな価値」があるとの結論に至った。

「新たな価値」

- 1 自己選択、自己決定、自ら選べる選択肢が今まで以上に広がる
- 2 よりよい指導環境、専門的な指導を継続的に受けられる
- 3 多世代の交流、世代を超えた地域の人々との交流の機会がある
- 4 多種目・多様な志向、スポーツ・文化の多様な経験と担い手の育成につながる
- 5 地域への誇りを感じられる
- 6 自宅や学校とは違う居場所がある（サードプレイス）

以下では、この6つについて簡単に解説をする。

1 自己選択、自己決定、自ら選べる選択肢が今まで以上に広がる

世田谷区は大規模自治体であり、区内に多様な資源（場所、プログラム、指導者等）が存在し、様々な機会を保障することができる。その機会を生徒自らが主体的に選ぶことにより、活動により積極的に参加する可能性がある。

2 よりよい指導環境、専門的な指導を継続的に受けられる

世田谷区には、特定種目の専門的な知識・技能を有している方が多く在住しており、発達段階を踏まえた一貫した指導体制とその環境が整えられる可能性がある。

3 多世代の交流、世代を超えた地域の人々との交流の機会がある

4 多種目・多様な志向、スポーツ・文化の多様な経験と担い手の育成につながる

この2つの点については、まとめて説明する。

地域クラブ活動にて、多様な世代と交流する、多種目を経験する、多様な志向を持つ人に触れるといった経験の広がりが想定される。また、こうした経験を

た生徒が、地域スポーツや文化の担い手にもなっていく可能性がある。

5 地域への誇りを感じられる

これまで多くの生徒は、ユニフォームに学校の名前を付けて試合に臨んだり、学校単位での発表や演技をしたりしてきた。今後は、地域の単位で試合や発表会に臨むことになり、地域への誇りを感じるようになる可能性がある。

6 自宅や学校とは違う居場所がある（サードプレイス）

中学校の部活動は「小学生のための学童保育」と類似した機能も果たしており、放課後、安全で安心できる貴重な居場所でもある。生徒にとって、地域クラブ活動がもう一つの居場所となる可能性もある。

< キャッチフレーズの設定の必要性について >

本委員会では、多くの関係者にこの「新たな価値」をご理解いただくためにも、意味を端的な言葉で表現した「キャッチフレーズ」が必要であると考え、以下のような「キャッチフレーズ」を定めることにした。なお、「キャッチフレーズ」を定めるにあたり、全体を包摂する大項目と、個別具体を示す小項目とに区分している。

大項目【3つのキャッチフレーズ】

- ・ つながる新たな仲間の輪、広がるスポーツと文化の世界
- ・ 生徒の可能性を広げる地域クラブ活動
- ・ 学校と地域で生徒をともに育て成長していく

小項目【6つのキャッチフレーズ】

- ・ なりたい自分に一歩前進、自分で選べる地域クラブ活動（価値1に対応）
- ・ 生徒の発達に見合った専門的な一貫指導の実現（価値2に対応）
- ・ 3つの多（多世代交流・多種目・多様な志向）をめざす地域クラブ活動（価値3・4に対応）
- ・ セタガヤプライド（価値5に対応）
- ・ もう一つ居心地のいい場所見つけ（価値6に対応）

4 - 4 今後の継続的な検討

少子化等の影響による生徒にとっての運動や文化活動の体験機会の確保や、教員の働き方改革から、現行の部活動を地域クラブ活動へと移行する動きの中で、地域クラブへの移行を検討していく中では、ここに地域で関わる方たちの意識や意向を尊重し、考慮していく必要がある。

今後、何よりも生徒を中心とした「生徒ファースト」の視点から、より良い環境の整備を進めていくためには、さらに議論を深めることが重要である。

世田谷らしい中学校部活動の地域移行を実現するためには、次年度以降も何らかの形での検討組織を設け、当事者である子どもたちの意見や、幅広い多くの方の意見を取り入れながら、検討を継続するべきである。また、発展的には、関係部署や関係者による協議会を設け、情報提供、意見交換の場とすることが必要となってくる。

資料編

1 世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会設置要綱

2 関連法規（抜粋）

3 世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会委員名簿及び開催実績

4 検討部会の意見回答集計結果

5 アンケート集計結果

全生徒向けアンケート

質問1 あなたは何年生ですか

質問2 現在、あなたは部活動に所属していますか。
中学3年生まで部活動を続けず引退した方は、引退直前の時期にこのアンケートに回答していると想定して以下にお答えください。
所属している
所属していたが、途中で退部した
中学校入学以来、部活動に所属していない

質問1の質問は全員必須回答。その他は、選択した回答内容による質問の分岐。

所属している
を選択 質問3へ

所属していたが、途中で退部した
または
中学校入学以来、部活動に所属していない
を選択 質問9へ

質問3 あなたは、どのような部活動に所属していますか。

- 運動系の部活動
- 文化系の部活動
- 運動系の部活動を2つ以上かけ持ちしている
- 文化系の部活動を2つ以上かけ持ちしている
- 運動系と文化系の部活動をかけ持ちしている

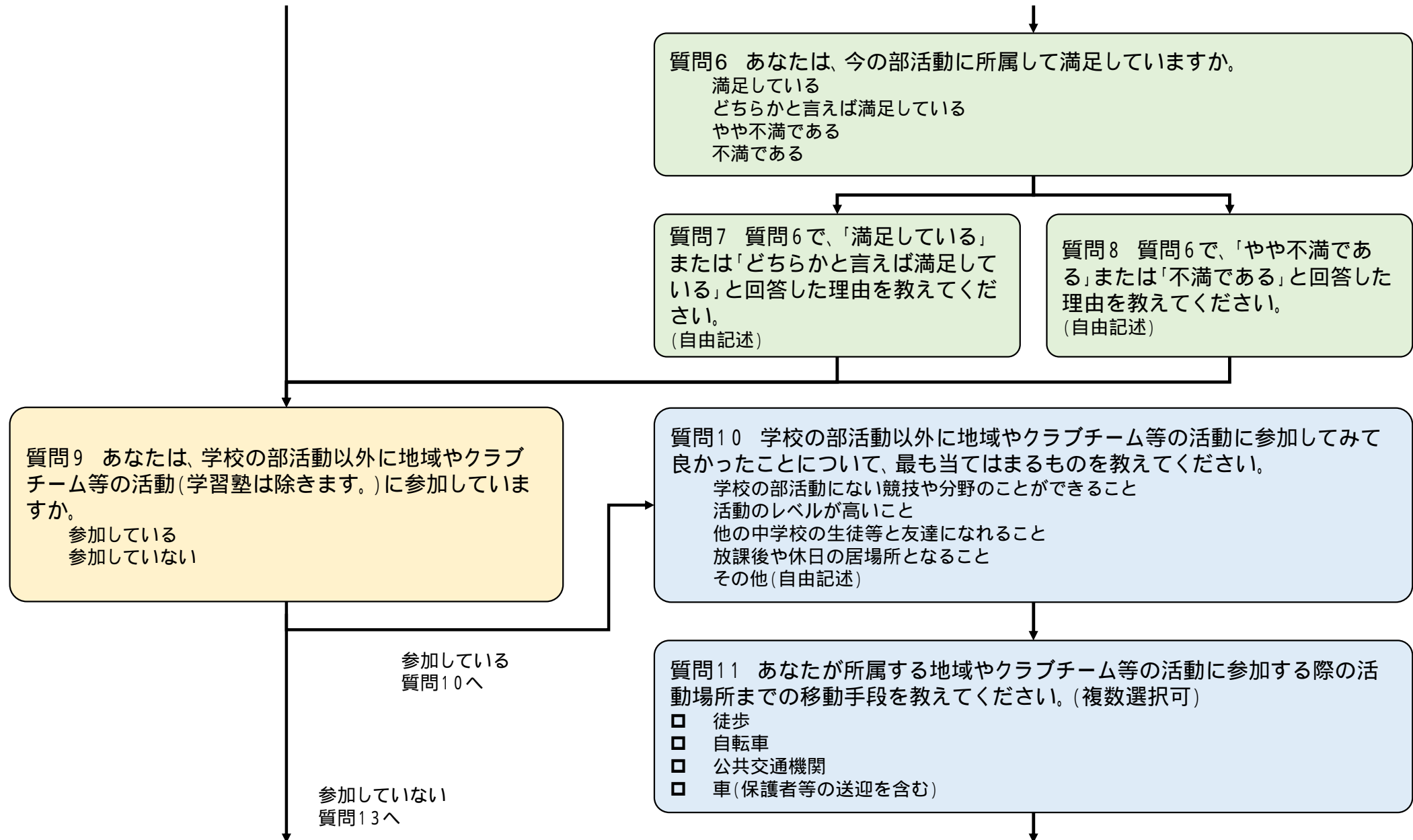
質問4 あなたは、今の部活動に所属する際に、考えに入れた点をすべて教えてください。(複数選択可)

- 大会やコンクールなどで良い成績を収めること
- 友達と楽しく活動すること
- 体力や技術を身につけること
- 高校進学を有利にすること
- 体力や技術に関係なく、友達と気楽に過ごせること
- 放課後や休日の居場所となること
- その他(自由記述)

質問5 あなたが部活動の顧問教員や部活動支援員から指導を受ける上で、期待していることは何ですか。(複数選択可)

- 専門的な技術指導を受けられること
- 大会等で上位の成績をねらった指導を受けられること
- 指導や言葉づかいが丁寧であること
- 礼儀や作法についても指導してくれること
- 楽しく指導してくれること
- 生徒の意見を取り入れた指導をしてしてくれること
- 平日と休日、できる限り同じ人が指導すること
- 習い事や家族の行事で部活動を休みことを認めてくれること
- テスト前に部活動を行わないこと
- その他(自由記述)

資料2 - 1



質問12 あなたが所属する地域やクラブチーム等の主な活動場所を教えてください。(複数選択可)

- 自分が在籍している中学校の施設
- 自分が在籍している中学校以外の区立学校の施設
- 上記以外の施設
- 活動場所は決まっていない

質問13 世田谷区教育委員会が、中学校の部活動を地域の団体や民間企業等の協力を得て、学校以外での活動に移行したり(地域移行)、学校の部活動のまま先生以外の方に部活動の運営や指導をお願いしたり(地域連携)することについて、検討していることを知っていますか。

- 知っている
- 知らなかった

質問14 部活動の地域移行をする場合に最も優先してほしい事項を1つ選んでください。

- 中体連の大会等に今までどおり参加できること
- 週2日以上のお休みを設けるなど、世田谷区の部活動のガイドラインが守られていること
- 参加費等の負担が少ないこと
- 指導者や運営団体の情報がオープンにされていること
- 大会・競技会に出場し、上位の成績を収めることをめざした活動が行われること
- 部活動の結果が高校受験の資料に反映されること
- 学校施設を優先的に活用できること
- 年度途中での加入や退会ができるようにすること
- 生徒の意見が取り入れられた活動が行われること
- 地域移行後も、学校が部活動を管理すること
- 活動で生じるトラブル等に関する相談窓口があること
- その他(自由記述)

↓

質問15 部活動の運営や指導を学校の先生以外の方をお願いすることについて、あてはまるものをすべて選んでください。

- 部活動以外の学校のことをよくわかっている学校の先生に教えてほしい
- 指導する人は先生以外の方でもよいが、ケガや部活のトラブルなど何かあった時には先生に相談できるようにしてほしい
- 技術的・専門的な指導をしてくれる人であれば先生でも先生以外の方でもどちらでもよい
- 授業や学校のこととは関係なく活動したいので、先生以外の方に指導を受けたい
- 学校の先生以外の方でもよいが、平日も休日も同じ人に指導してほしい
- 学校の先生と学校の先生以外の方の両方に指導してほしい
- 生徒の意見を聞いてくれるのであれば、学校の先生でも先生以外の方でもどちらでもよい
- その他(自由記述)

↓

質問16 今後、継続的な活動を維持するために、参加費、指導者に対する謝礼や施設利用料などの負担を参加者をお願いする場合があります。新たな経費負担が求められることについてどのように思いますか。最もあてはまるものを1つ選んでください。

- 参加費を無料にしてほしい
- 謝礼や施設利用料は区に負担してほしい
- 参加費や謝礼、施設利用料を参加者が負担することはやむを得ない
- 今の部活動以上に負担が生じるのであれば、部活動の継続が難しくなると思う

↓

質問17 自分の学校以外の施設(区の競技場や他の中学校など。以下「学校以外の施設」と言います。)を利用して部活動を行うことについて、どのように思いますか。当てはまるものをすべて選んでください。

- 施設の設備が学校より充実しているのであれば、施設利用料の負担が生じても学校以外の施設を利用したい
 - 普段の活動場所と違って特別感があるので、施設利用料の負担が生じても学校以外の施設を利用したい
 - 移動時間がかかって、活動時間が短くなりそうなので学校内で活動したい
 - 帰宅時間が遅くなりそうなので、学校内で活動したい
 - 学校以外の施設の利用料の負担が生じるのであれば、学校内で活動したい
 - その他(自由記述)
- ↓

質問18 部活動の活動場所が学校以外の施設を利用する場合に、移動の手段として自転車利用についてどう思いますか。

- 部活動の顧問の許可制としたほうがよい
- 教育委員会や学校がルールを決めて、学校の許可制としたほうがよい
- 各家庭の判断での自転車利用を認めてほしい
- 自転車利用は認めるべきではない

質問19 他校の生徒と合同で部活動を行うことについて、どのように思いますか。

- 他校の生徒と一緒に部活動してみたい
- 同じ中学校の生徒だけでやりたい

質問20 質問19で、「他校の生徒と一緒に部活動してみたい」を選んだ理由について、最も当てはまるものを選んでください。

- 他校の生徒と切磋琢磨(せっさたくま)して、技術を向上させることができそうだから
- 他校の生徒と新しく友達になることができそうだから
- 人数が増えて、いろいろな大会や発表会に出場することができそうだから
- その他(自由記述)

質問21 質問19で「同じ中学校の生徒だけでやりたい」を選んだ理由について、最も当てはまるものを選んでください。

- 自分の学校名を背負って、大会やコンクールに出場したいから
- 他校の生徒と友達になれるか不安だから
- 普段の練習メニューが変わってしまうか不安だから
- その他(自由記述)

質問22 部活動の地域移行について、ご意見などがあれば、ご記入ください。 自由記述

全保護者向けアンケート

質問1 お子様は何年生ですか

質問2 現在、お子様は部活動に所属していますか。

中学3年生まで部活動を続けず引退している場合は、引退直前の時期にこのアンケートに回答していると想定して以下にお答えください。

- 所属している
- 所属していたが、途中で退部した
- 中学校入学以来、部活動に所属していない

質問3 お子様は、どのような部活動に所属していますか。

- 運動系の部活動
- 文化系の部活動
- 運動系の部活動を2つ以上かけ持ちしている
- 文化系の部活動を2つ以上かけ持ちしている
- 運動系と文化系の部活動をかけ持ちしている

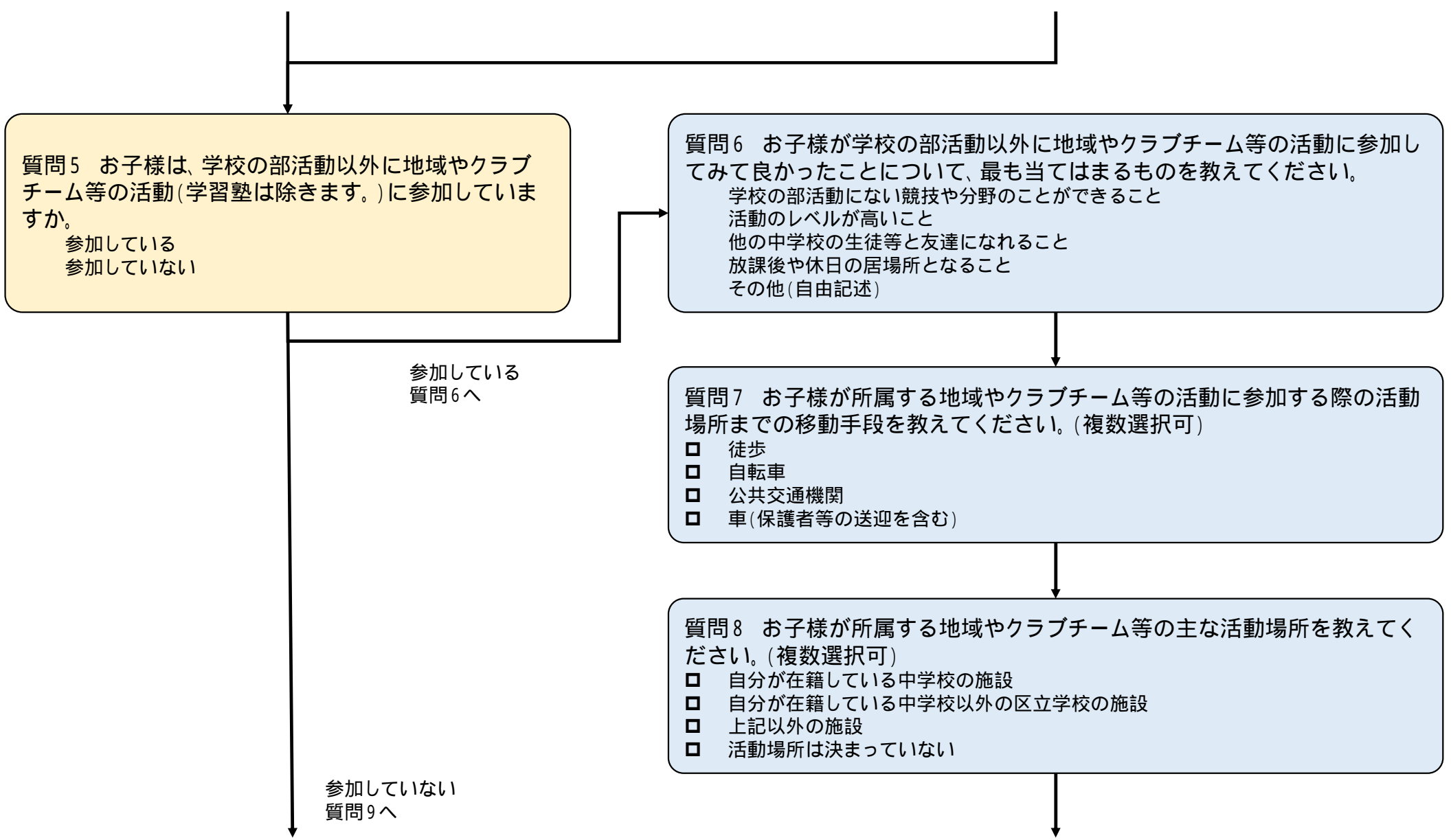
所属している
を選択 質問3へ

質問4 お子様は部活動の顧問教員や部活動支援員から指導を受ける上で、期待していることは何ですか。(複数選択可)

- 専門的な技術指導を受けられること
- 大会等で上位の成績をねらった指導を受けられること
- 指導や言葉づかいが丁寧であること
- 礼儀や作法についても指導してくれること
- 楽しく指導してくれること
- 生徒の意見を取り入れた指導をしてくれること
- 平日と休日、できる限り同じ人が指導すること
- 習い事や家族の行事で部活動を休みことを認めてくれること
- テスト前に部活動を行わないこと
- その他(自由記述)

質問1の質問は全員必須回答。その他は、選択した回答内容による質問の分岐。

所属していたが、途中で退部した
または
中学校入学以来、部活動に所属していない
を選択 質問5へ



質問5 お子様は、学校の部活動以外に地域やクラブチーム等の活動(学習塾は除きます。)に参加していますか。
参加している
参加していない

質問6 お子様在学校の部活動以外に地域やクラブチーム等の活動に参加してみて良かったことについて、最も当てはまるものを教えてください。
学校の部活動にない競技や分野のことができること
活動のレベルが高いこと
他の中学校の生徒等と友達になれること
放課後や休日の居場所となること
その他(自由記述)

質問7 お子様所属する地域やクラブチーム等の活動に参加する際の活動場所までの移動手段を教えてください。(複数選択可)
 徒歩
 自転車
 公共交通機関
 車(保護者等の送迎を含む)

質問8 お子様所属する地域やクラブチーム等の主な活動場所を教えてください。(複数選択可)
 自分が在籍している中学校の施設
 自分が在籍している中学校以外の区立学校の施設
 上記以外の施設
 活動場所は決まっていない

参加している
質問6へ

参加していない
質問9へ

質問9 世田谷区教育委員会が、中学校の部活動を地域の団体や民間企業等の協力を得て、学校以外での活動に移行したり(地域移行)、学校の部活動のまま先生以外の方に部活動の運営や指導をお願いしたり(地域連携)することについて、検討していることを知っていますか。

- 知っている
- 知らなかった

質問10 部活動の地域移行をする場合に最も優先してほしい事項を1つ選んでください。

- 中体連の大会等に今までどおり参加できること
- 週2日以上以上の休養日を設けるなど、世田谷区の部活動のガイドラインが守られていること
- 参加費等の負担が少ないこと
- 指導者や運営団体の情報がオープンにされていること
- 大会・競技会に出場し、上位の成績を収めることをめざした活動が行われること
- 部活動の結果が高校受験の資料に反映されること
- 学校施設を優先的に活用できること
- 年度途中での加入や退会ができるようにすること
- 生徒の意見が取り入れられた活動が行われること
- 地域移行後も、学校が部活動を管理すること
- 活動で生じるトラブル等に関する相談窓口があること
- その他(自由記述)

質問11 今後、継続的な活動を維持するために、参加費、指導者に対する謝礼や施設利用料等の負担を参加者をお願いする場合があります。新たな経費負担が求められることについてどのように思いますか。

4択) そう思う / どちらかと言えばそう思う / どちらかと言えばそう思わない / そう思わない

- 参加費を無料にしてほしい
- 謝礼や死せる利用料は区に負担してほしい
- 参加費や謝礼、施設利用料を参加者が負担することはやむを得ない
- 今の部活動以上に負担が生じるのであれば、子どもが部活動を継続することが難しくなると思う

↓

質問12 仮に、部活動を地域移行することにより参加費等を求められた場合、一月当たりどれくらいの費用が妥当だと思いますか。

無料

一月あたり500円以内

一月あたり501円～1,000円

一月あたり1,001円～5,000円

一月あたり5,001円～10,000円

一月あたり10,001円～15,000円

一月あたり15,001円以上

↓

質問13 自分の学校以外の施設(区の競技場や他の中学校等。以下「学校以外の施設」と言います。)を利用して部活動を行うことについて、どのように思いますか。当てはまるものをすべて選んでください。

- 施設の設備が学校より充実しているのであれば、施設利用料の負担が生じても学校以外の施設を利用させたい
- 普段の活動場所と違って特別感があるので、施設利用料の負担が生じても学校以外の施設を利用させたい
- 移動時間がかかって、活動時間が短くなりそうなので学校内で活動のほうがよい
- 帰宅時間が遅くなりそうなので、学校内で活動のほうがよい
- 学校以外の施設の利用料の負担が生じるのであれば、学校内で活動のほうがよい
- その他(自由記述)

↓

質問14 お子様が所属している部活動の活動場所が学校以外の施設となった場合に、移動の手段として自転車の利用についてどう思いますか。

部活動の顧問の許可制としたほうがよい

教育委員会や学校がルールを決めて、学校の許可制としたほうがよい

各家庭の判断での自転車利用を認めてほしい

自転車利用は認めるべきではない

↓

質問15 部活動の地域移行について、ご意見などがあれば、ご記入ください。 自由記述

全教員向けアンケート


資料2 - 3

質問1 あなたは部活動の顧問をしていますか。

- 運動系部活動の顧問をしている
- 文化系部活動の顧問をしている
- 2以上の運動系部活動の顧問をしている
- 2以上の文化系部活動の顧問をしている
- 運動系と文化系の両方の顧問をしている
- 部活動の顧問はしていない

～ 顧問をしている
を選択 質問2へ

部活動の顧問はしていない
を選択 質問15へ

の質問は全員必須
回答。その他は、選択した回
答内容による質問の分岐。

質問2 顧問をしている部活動について、
中学、高校、大学等で競技者(選手・補欠を問わない)としての経験(文化系部
活動の場合はその分野の経験)はありますか。

- 経験がある
- 経験がない

質問3 顧問をしている部活動の技術的な指導は主に誰が行っていますか。

- 主に自分が行っている
- 主に他の顧問教員が行っている
- 主に部活動支援員が行っている

質問4 現在担当している部活動の平日の活動時間について、どのように考
えますか。

- 現状よりも増やしたい
- 現状で十分
- 現状よりも減らしたい
- 平日の部活動はしていない

質問5 現在担当している部活動の週休日や休日の活動時間について、どの
ように考えますか。

- 現状よりも増やしたい
- 現状で十分
- 現状よりも減らしたい
- 週休日や休日に部活動はしていない

質問6 現在担当している部活動の休養日の設定について、どのように考えますか。

- 現状よりも増やしたい
- 現状で十分
- 現状よりも減らしたい

質問7 部活動の指導に、やりがいを感じますか。

- やりがいを感じている
- どちらかと言えばやりがいを感じている
- ほとんどやりがいを感じていない
- 全くやりがいを感じない

質問8 質問7で、「やりがいを感じている」または「どちらかと言えばやりがいを感じている」と回答した理由を記入してください。
(自由記述)

質問9 質問7で、「ほとんどやりがいを感じていない」または「全くやりがいを感じない」と回答した理由を記入してください。
(自由記述)

質問10 部活動指導の負担感の有無について教えてください。

- 部活動指導を負担に感じる
- 部活動指導を負担に感じない

負担を感じる
質問11へ

負担に感じない
質問12へ

質問11 質問10で、「部活動指導を負担に感じる」と回答した理由をすべて選んでください。

- 授業準備ができないこと
- 退勤時間が遅くなること
- 土日も休養できないこと
- 生徒と関わる時間が確保できないこと
- 他の校務に従事する時間を確保できないこと
- プライベートな時間を確保できないこと
- 保護者対応
- 指導技術がなく自信がないこと
- 大会等で審判や運営を担当しなければならないこと
- その他(自由記述)

質問12 質問10で、「部活動指導を負担に感じない」と回答した理由をすべて選んでください。

- 部活動指導は楽しいから
- 外部指導者がいるため
- 自分の経験等をいかすことができる
- 部活動を通じて生徒を成長させることができる
- 生活指導に部活動は必要と考えるから
- 学校生活に部活動は必要と考えるから
- その他(自由記述)

質問13 大会や練習試合の引率業務は主に誰が行っていますか。

- 主として自分が行っている
- 複数の顧問教員が交代で行っている
- 主として他の顧問教員が行っている
- 主として部活動支援員が行っている
- その他(自由記述)

質問14 大会や練習試合の引率業務の際に特に課題となっているものがあれば教えてください。

- 一人で多数の生徒を引率しなければならないこと
- 休日に休めなくなること
- 休日に引率業務を行っても平日に代休をとれないこと
- 大会等の運営や審判などの役割があり、引率業務中でも生徒の指導ができない時間があること
- 交通費が十分支給されないこと
- その他(自由記述)

質問1の から

質問14から

質問15 今後、自分自身が技術指導のできる競技等の部活動の顧問となることについて、教えてください。

顧問として部活動指導業務に従事してよい

他に顧問となる教員がないのであれば、顧問として部活動指導に従事してよい

平日だけであれば、顧問として部活動指導に従事してよい

週休日や休日だけであれば、顧問として部活動指導に従事してよい

部活動の顧問はしたくない

技術指導のできる部活動はない

その他(自由記述)

質問16 技術指導を行う部活動支援員が配置されている部活動の顧問となることについて、教えてください。

顧問として部活動指導に従事してよい

他に顧問となる教員がないのであれば、顧問として部活動指導に従事してよい

平日だけであれば、顧問として部活動指導に従事してよい

週休日や休日だけであれば、顧問として部活動指導に従事してよい

自分が指導者として関われないのであれば、部活動の顧問はしたくない

部活動支援員が配置されている部活動であっても、部活動の顧問はしたくない

その他(自由記述)

質問17 世田谷区教育委員会が、中学校の部活動を地域の団体や民間企業等の協力を得て、学校以外での活動に移行したり(地域移行)、学校の部活動のまま先生以外の方に部活動の運営や指導をお願いしたり(地域連携)することについて、検討していることを知っていますか。

知っている

知らなかった

↓

質問18 現在、学校で行っている部活動の今後の位置づけについて、どのように考えますか。

学習指導要領では、教育課程外であるが学校教育の一環としての活動と位置付けられていることから、学校の管理下で行えるよう体制整備が必要である生徒の自主的、自発的な参加により行われるものであるため、学校教育の活動とは切り離されている活動として、学校が主体的に関与しない活動として位置付けたほうがよい
学校が主体的に関与しない活動に位置付けた上で、指導を希望する教員が活動に関われるよう、兼職兼業に関する規定等を整備する必要がある
その他(自由記述)

↓

質問19 中学校の部活動が地域に移行された際に、地域の指導者として関わりたいと考えますか。

自分の経験や技術が活かされるのであれば関わってもよい
指導に対する報酬が支給されたり、事故等に対する補償制度、振替休日制度等が整っているのであれば関わってもよい
他に指導する者がいないのであれば、関わってもよい
関わりたくない

↓

質問20 中学校の部活動が地域に移行される際に、期待する項目をすべて選んでください。(複数選択可)

- 学校や顧問教員の負担軽減につながる
 - 休日に大会や練習試合等の引率がなくなる可能性がある
 - 教員が大会等の運営や審判を担当する必要がなくなる
 - 生徒が専門性の高い指導を受けられる
 - 生徒が設備の整った環境で練習ができる
 - 生徒が他校の生徒と交流すること
 - 生徒が学校の部活動にない、新しい種目や競技に取り組める
 - 区内の学校が横並びでなく、できる部活動からでも地域移行が進む
 - 特定の学校や部活動で地域移行が進むのではなく、すべての学校の部活動で地域移行が実現すること
 - 地域移行後も生徒の経済的負担に配慮がされている
 - 生徒と向き合う時間が増える
 - 特に期待することはない
 - その他(自由記述)
- ↓



質問21 中学校の部活動が地域に移行される際に、懸念する項目をすべて選んでください。(複数選択可)

- 「地域移行」という言葉は聞くが、地域からは「部活動を地域が担う」という積極的な声が聞こえてこないこと
- 参加者の募集や地域活動を担う団体等との調整があり、教員の負担軽減につながらないこと
- 学校の施設を利用している場合には、学校の責任が問われる可能性があること
- 学校の管理下で行われる活動と、地域移行された活動で大会や発表会等の参加条件等に差が生じること
- 大会等での成績が把握できず、高校入試の調査書等に記載できない恐れがあること
- 活動への参加費、指導者への謝金や施設利用料等の負担が生徒に生じ、参加できない生徒が出ること
- 生徒や保護者が地域に移行された活動を優先し、学習活動や生徒指導等で支障がでる可能性があること
- 適切な指導者が確保されず、兼職兼業等による教員の関与が求められること
- 部活動が地域に移行された場合の事故やケガ等に関する補償の枠組みが定まっていないこと
- 地域に移行された活動であっても、活動中の事故等の相談が学校に寄せられること
- 授業以外の場面で生徒との関りが減ることとなり、生徒の変化を見逃す可能性があること
- 特に懸念することはない
- その他(自由記述)



質問22 部活動の活動場所が勤務校以外の施設(区の競技場や他の中学校等)を利用する場合に、移動の手段として自転車利用についてどう思いますか。

- 部活動の顧問の許可制としたほうがよい
- 学校がルールを決めて、学校の許可制としたほうがよい
- 教育委員会がルールを決めて、学校の許可制としたほうがよい
- 自転車利用は各家庭の判断に委ねる
- 自転車利用は認めるべきではない



質問23 部活動の地域移行について、ご意見などがあれば、ご記入ください。 自由記述

中学校部活動 地域移行／地域連携のパターン想定

1) 部活動の地域移行（地域クラブ）

通番	主体	会場	形態	トライアル
1-01	総合型スポーツ・文化クラブ（中学校拠点）	中学校	自校生のみ	体力向上部
1-02			他の中学と合同	
1-03			多世代と合同	
1-04	総合型スポーツ・文化クラブ（小学校拠点）	中学校（第2会場として使用している場合）	自校生のみ	
1-05			他の中学と合同	
1-06		小学校	多世代と合同	
1-07	スポーツ振興財団、文化財団	中学校	自校生のみ	ソフトテニス部
1-08			他の中学と合同	
1-09		他の施設（財団の施設等）	自校生のみ	
1-10			他の中学と合同	陸上部、演劇部
1-11	民間事業者、スポーツクラブ、プロチーム等	中学校	自校生のみ	R6年度実施予定
1-12			他の中学と合同	
1-13		事業者の施設等	自校生のみ	
1-14			他の中学と合同	
1-15	地域団体（自主活動団体等）	他の施設	多世代と合同	

2) 部活動の地域連携

通番	主体	会場	形態	
2-01	（顧問+）部活動支援員	中学校	自校生のみ	
2-02			他の中学と合同	

➤ 大会への審判派遣の仕組みづくり